令和８年１１月３日

〈外国人叙勲〉

氏名	年齢	住所	勲等	国籍
武部　清美　エリーナ	69 歳	サンパウロ州 サンパウロ市	瑞宝双光章	ブラジル



（主要経歴）
日本国在外公館活動に寄与
（主な功績）
　武部氏は、平成元年に在サンパウロ総領事館の査証班職員として採用された後、翌平成２年に総領事秘書となり、その後退職する令和４年まで３０年以上に亘り総領事秘書を務め、もって歴代総領事の業務を長年支え、その誠実かつ信頼のおける勤務態度、正確な仕事ぶりで在サンパウロ総領事館の活動に大きく貢献した。
　また、総領事秘書業務を通じ、広く当地日系社会、進出日本企業、政府関係者、当地外交・領事団等と常に良好な関係を保ち、それら各方面からの総領事館に対する信頼向上に大きく貢献した。またそうして自ら築いたネットワークにより、歴代総領事及び総領事館と各方面との関係構築、発展にも多大な貢献をした。
　その他、総領事秘書業務の傍ら、ボランティアとしてブラジル石川県人会の理事、副会長等を歴任し、退職後は会長職も務めた。２０２４年の石川県能登半島地震発生時は、地震発生直後から同県人会としての支援策の検討に着手し、義援金口座の開設、慈善コンサートの開催等、当地日系社会と協力して幅広い寄付の呼びかけを行った。なおこの活動は日本の報道でも取り上げられ、東京メトロの電車内報道で紹介される程の注目を集めた。

在リオデジャネイロ日本国総領事館　推薦叙勲受章者

〈外国人叙勲〉

氏名	年齢	住所	勲等	国籍
栗原　謙一郎 （くりはら　けんいちろう）	７８歳	リオデジャネイロ州 リオデジャネイロ市	旭日双光章	ブラジル

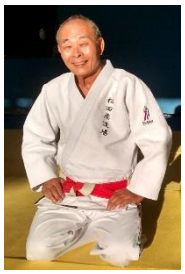


（主要経歴）
元　リオデジャネイロ日系協会会長
現　リオデジャネイロ州日伯文化体育連盟理事長
現　リオデジャネイロ日系協会日本語モデル校校長

（主な功績）
　栗原謙一郎氏は、リオデジャネイロ日系協会会長、リオデジャネイロ州日伯文化体育連盟理事長を歴任し、日本祭り、七夕祭り、運動会などの各種行事を精力的に運営し、日本とブラジルの友好親善及び相互理解の促進並びに日系社会の発展に大きく寄与した。また、２０２３年の海上自衛隊遠洋練習航海の受入や２０２５年の日本ブラジル外交関係樹立１３０周年における佳子内親王殿下御訪問時の奉迎事業を主導し、日伯友好の深化に貢献した。
　さらに、２００８年から１８年にわたり日本語モデル校の校長を務め、日本語能力試験の安定的な運営、日本語弁論大会や文化祭の継続的な開催を通じて、次世代を担う人材の育成と在外日本語教育の振興に顕著な功績を挙げた。

〈邦人叙勲〉

氏名	年齢	住所	勲等	国籍
姓　名 松田　四郎	８５歳	リオデジャネイロ州 マカエ市	旭日単光章	日本



（主要経歴）
現　松田移民館協会名誉会長

（主な功績）
　松田氏は、柔道指導者として、日本の伝統文化であるとともにスポーツである柔道を、それまで全く存在しなかったリオデジャネイロ州北部及び北東部地域の地方都市に導入し、発展させることに、昭和４１年から６０年間に亘り尽力した。
　また、柔道指導を行った生徒には、地元行政や地域の医療を支える人材、教育を支える教師が数多く誕生しており、柔道を通じて地域を支える人材育成に大きく貢献した。
　さらに、設立した協会において、日本語及び墨絵の講座を開設し、習得の支援を行うほか、日本の文化を紹介する日本祭りを定期的に開催し、リオデジャネイロ北部及び北東部地域における日本文化の普及に務めた。

在クリチバ日本国総領事館　推薦叙勲受章者

〈外国人叙勲〉

氏名	年齢	住所	勲等	国籍
西森　植田　エリザベッチ　明美	70 歳	パラナ州 マリンガ市	旭日双光章	ブラジル



（主要経歴）
現　ブラジル歌謡協会会長

（主な功績）
　パラナ州マリンガ市に生まれ、幼少期から歌謡や日本舞踊を習い、日本文化に親しみながら育った。1989 年から 1994 年には、マリンガ文化体育協会文化部長として、日本舞踊や盆踊りの指導を通じ、日本文化の伝承及び普及に尽力。
　2006 年には、文化交流と日本歌謡イベントの促進を図ることを目的に活動する「ブラジル歌謡協会」会長に就任。現在まで、同会長としてブラジル全国の 27 の傘下団体を統括するとともに、ブラジル各地で歌謡大会を開催し、歌謡文化の普及に貢献している。コロナ禍により、歌謡大会の対面開催が困難となった際には、日系社会を鼓舞するべく、オンラインによる開催を実現し、日系社会の活性化や連携強化に努めた。さらに、「ブラジル日本人移民 100 周年」や同 110 周年、日伯外交関係樹立 120 周年などの節目の年には大規模な歌謡大会を開催し、両国間の友好親善の増進に貢献してきた。
　直近の 2025 年の日伯外交関係樹立 130 周年では、日系社会における女性の役割や活躍を再認識することを目的にマリンガ市で開催された「日系女性の集い」でコーディネータを務め、行事の成功に尽力した。

在レシフェ日本国総領事館　推薦叙勲受章者

〈外国人叙勲〉

氏名	年齢	住所	勲等	国籍
ネルソン・ミチマサ・ジンゼンジ	７７歳	ペルナンブコ州 ジャボアタォン・ ドス・ グアララペス市	旭日双光章	ブラジル



（主要経歴）
元　レシフェ日本文化協会会長

（主な功績）
　ネルソン・ミチマサ・ジンゼンジ氏は、元レシフェ日本文化協会会長であり、ブラジルにおける日系社会の福祉向上及び日本・ブラジル間の友好親善に寄与した。同氏は、会計士としての専門知識を活かし、レシフェ日本文化協会のガバナンス強化、法令遵守体制の構築、会館整備・運営の財務管理に貢献し、レシフェ日本文化協会を縁の下の力持ちとして支えることにより、ペルナンブコ州における日系社会の福祉向上及び日本・ブラジル間の友好親善に寄与した。

在ブラジル日本国大使館／在ベレン領事事務所　推薦叙勲受章者

〈邦人叙勲〉

氏名	年齢	住所	勲等	国籍
上杉　嘉幸 （うえすぎ　よしゆき）	８７歳	パラー州 イガラペアス市	旭日単光章	日本



（主要経歴）
元トメアス総合農業協同組合理事長

（主な功績）
上杉氏は、昭和 58 年から 8 年間、財政危機にあったトメアス総合農業協同組合（CAMTA）の理事長として再建を主導、財務改善や組織再編を断行し、日本政府の支援を得て、荒廃地再生や輸出体制の再構築、販路拡大を推進し、同組合を州内有数の農産物輸出団体へと再生させ、若手人材の育成・登用を推進して、現在に至る安定的な運営基盤を築いた。また、農学技術者として、単一栽培から複数作物を組み合わせる複合栽培への転換を提唱・確立した。これにより、病害リスクの分散と年間を通じた安定収穫が可能となり、農家の収入安定と向上に貢献した。さらに、科学的・計画的な農業経営を指導して技術向上を図り、雇用創出を通じて地域農業と経済の持続的発展に貢献した。
平成 14 年から平成 16 年までは、イガラペアス日伯文化協会会長として日本文化の継承や日本的価値観の涵養、組織強化に貢献した。さらに、スポーツ振興を通じて青少年の健全育成を支え、地域日系社会の精神的基盤の維持・発展にも寄与した。